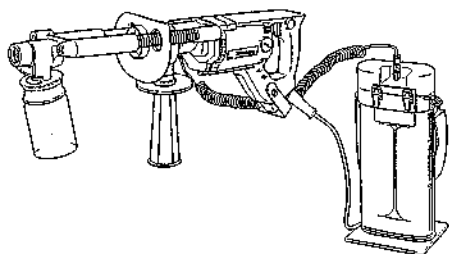


# ORIENTEC

## 取扱説明書

### スーパードリル

□ モデル OJ-5



二重絶縁

このマークは、電気的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地（アース）もなくとも感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびはスーパードリル OJ-5 を  
お買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



## 主要機能

主要機能	モデル	OJ-5
電 動 機		直巻整流子電動機
電 圧		単相100V
電 流		5.5A
周 波 数		50-60Hz
消 費 電 力		520W
回 転 数		毎分10,000回転
穴あけ能力	穴あけ深さ	0~100mm
	穴 径	5、6、6.5mm
全 長		498mm
質 量		2.7kg

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

### 注意文の△警告・△注意・注の意味について

ご使用上の注意事項は△警告・△注意・注に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

**△警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**△注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。  
 なお、△注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

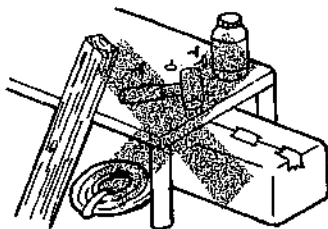
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

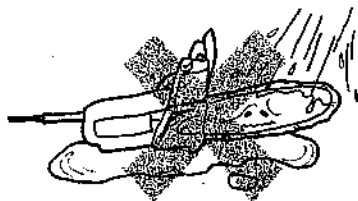
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4. 感電に注意してください。

- ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



5. 子供を近づけないでください。

- ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 小形の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

9. きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

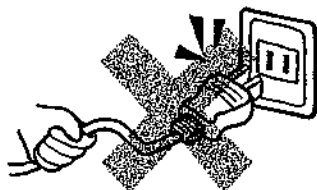


11. 防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

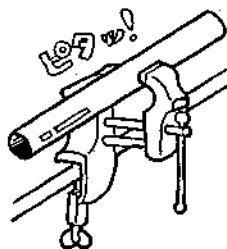
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13.加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14.無理な姿勢で作業しないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

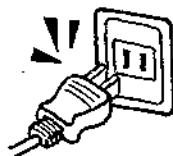
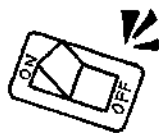


15.電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

16.次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



17.調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしであることを確認してください。

18.不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

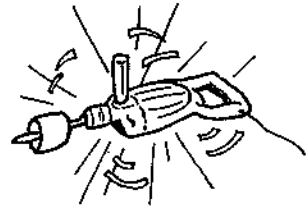
## 20.油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。



## 21.損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認して



- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

## 22.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

## 23.電動工具の修理は、専門家に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたがスーパードリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### △警告

- 1.使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 2.作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- 3.回転中のビットにコードが接触しないようにしてください。
  - ・感電の原因になります。
- 4.使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 5.使用中は、キリなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
- 6.使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 7.誤って落としたり、ぶつけたときはキリなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## △注意

1. 工具類(ダイヤモンドビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。
  - ・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
  - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 冷却ポンペは空の状態で使用しないでください。
  - ・ ダイヤモンドビットが発熱し使用出来なくなります。
  - ・ この場合やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。

## 注

電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値		
	～5A	5～10A	10～15A
0.75mm <sup>2</sup>	20m	—	—
1.25mm <sup>2</sup>	30m	15m	10m
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- ・ 200V仕様機の場合は、上表の2倍の長さが限度となります。



## 冷却剤ボンベ安全上のご注意

冷却剤ボンベは高圧ガス（DME/CO<sub>2</sub>）を使用した可燃性の製品ですので、下記の注意事項を必ず守ってください。

### 警告

容器（ボンベ）が加熱すると容器内の圧力が上がり爆発の恐れがあります。次のような行為はおやめください。

### 破裂注意

- ・容器をストーブ（ファンヒーター）などの熱気のある所に置かないでください。
- ・容器を火の中に投げ入れないでください。

### 車内・清掃車内爆発

- ・自動車内に放置しますと車内温度上昇により爆発の恐れがありますので自動車内に放置しないでください。火災の危険あり。容器は完全に使いきってから、ほかのゴミと区別して捨ててください。

使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液を全て流し出してから廃棄してください。

容器は40℃以下で温度の少ない場所にキャップをして保管してください。高温の場所に保管すると爆発・火災の恐れがあります。また容器に錆が発生している場合には、液漏れがないことを確認後、出来るだけ早く使用してください。

炎天下で使用する時は、必ず容器を日陰に静置してください。

人体に向かって噴射しないでください。

目に入った時は、大量の水で洗い流してください。もし異常がある場合は医師に相談してください。また口に入った時は、飲み込まず、うがいをし、医師に相談してください。

- ・使用目的以外に使用しないでください。
- ・有機溶剤配合ですので使用の時は十分に換気をしてください。
- ・子供の手の届く所に置かないでください。
- ・直射日光のあたる所に置かないでください。



## 火気と高温に注意

炎や火気の近くで使用しないでください。

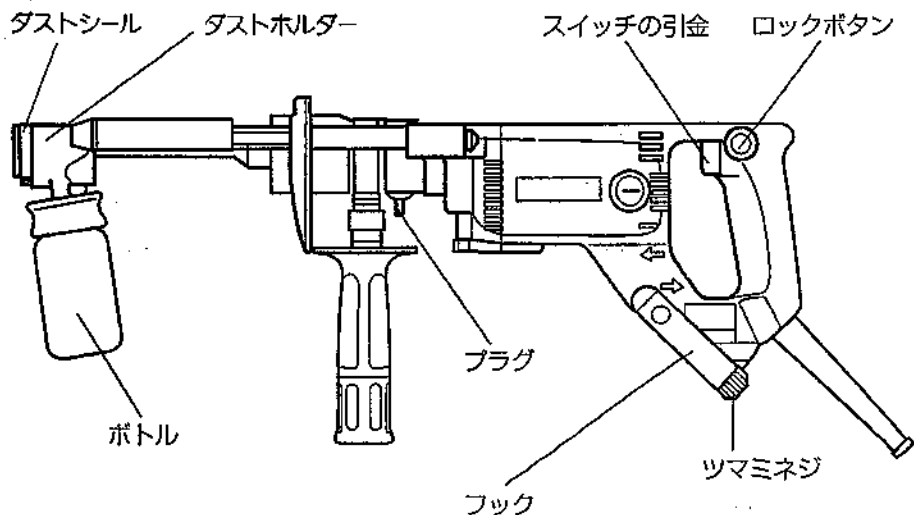
火気を使用している室内で使用しないでください。

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないでください。

火の中に入れてください。

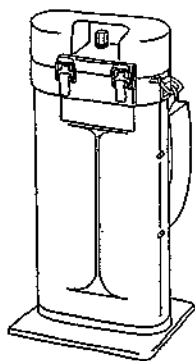
使い切って捨ててください。

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

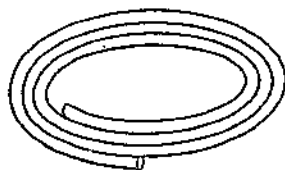
・ポンベホルダー



・スパイラルチューブ組立

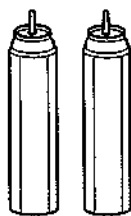


・ホース (2m)

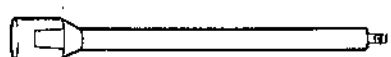


・プラスチックケース

・冷却剤ボンベ (1ケース 12本入)  
(2本セットでご使用ください)



・ボディφ6~8    ・リング6セット品



・ダイヤモンドビット φ6.0



・ダイヤモンドビット φ6.5



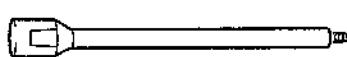
・サラモミビット φ9.2



・ボディφ5

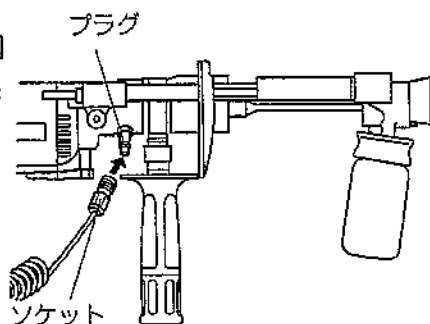
・リング5セット品

・ダイヤモンドビットφ5.0



## 本機、スパイラルチューブ組立、ポンベホルダーの接続

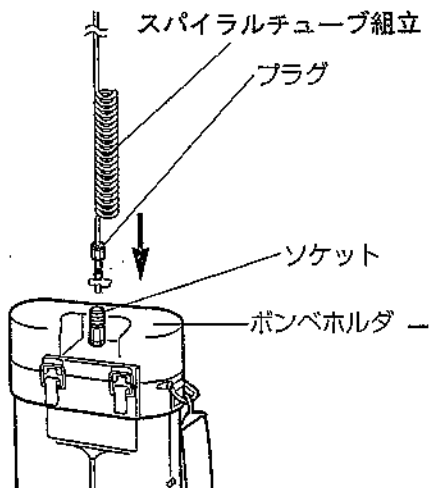
- ・スパイラルチューブ組立のソケット側を本機のプラグに差し込んでください。



### 注

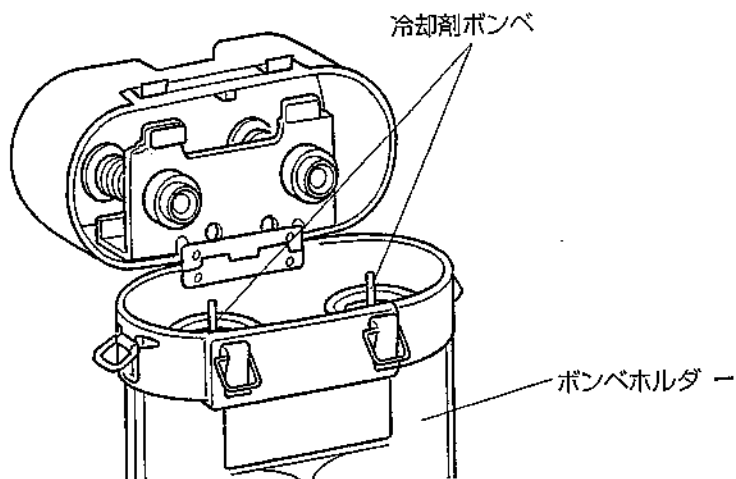
使用中スパイラルチューブ組立を本機より取り外す際、プラグより冷却剤が噴出する場合があります。顔などにかからないように注意して下さい。

- ・スパイラルチューブ組立のプラグ側をポンベホルダーのソケットに差し込んでください。



## ポンベホルダーへの冷却剤ポンベのセット方法

- ・冷却剤ポンベは必ず2本ずつセットしてください。



### 注

冷却剤ポンベ交換時、ポンベホルダーのフタを開けた時、ポンベとフタの接続部分より冷却剤が噴出する場合があります。  
顔などにかからないように注意してください。

## ダイヤモンドビット、ボディの取り付け方



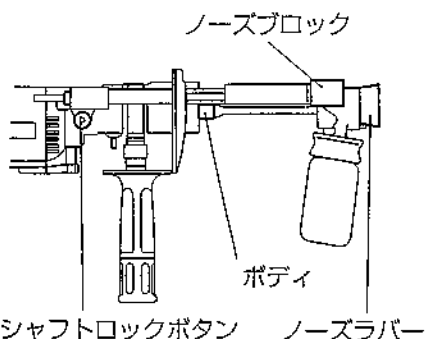
ダイヤモンドビット、ボディの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ノーズラバーを取りはずしてください。

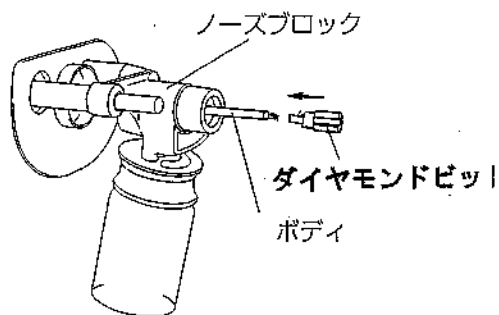
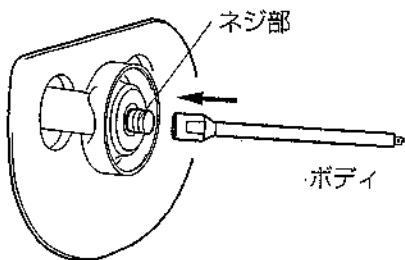
### ボディの取り付け方

- ・ボディを本機ネジ部に右に回してネジ込んでください。
- ・シャフトロックボタンを押しながら、しっかり締め付けてください。
- ・ボディを取り付けた後、ノーズラバーを元の位置に取り付けてください。



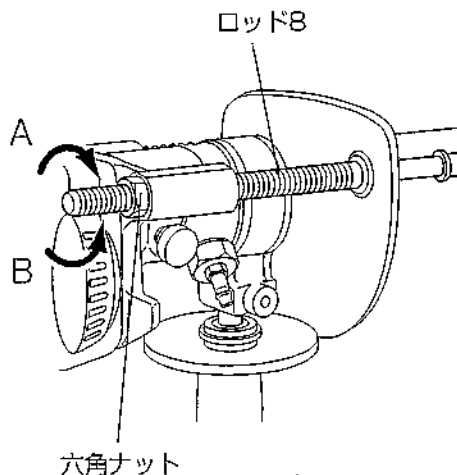
### ダイヤモンドビットの取り付け方

- ・ノーズブロックを押し下げてください。
- ・ボディにダイヤモンドビットを右に回してネジ込んでください。
- ・シャフトロックボタンを押しながら、しっかり締め付けてください。
- ・取りはずす場合は取り付け方の逆の要領で行ってください。



## 穴あけ深さの調節

- ・六角ナットを付属のスパナでゆるめてください。
- ・ロッド8を回して穴あけ深さを調節してください。
- ・A方向に回せば浅く、B方向に回せば深くなります。
- ・穴あけ深さを調節後、六角ナットを付属のスパナでしっかり締め付けてください。



## スイッチの操作

### ⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

・スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。

停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を





## 穴あけ方法

### ⚠警告

必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された、感電防止用漏電しゃ断装置の設置された電源で使用してください。

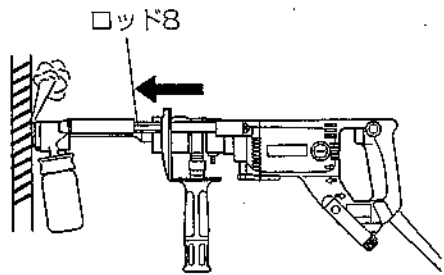
本機は作業者を感電事故より守るため、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期すために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。

冷却剤の廃液は可燃性がありますので、タバコ、マッチなど火気を近づけないで水でうすめて捨ててください。

- ・使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液を全て流し出してから廃棄してください。

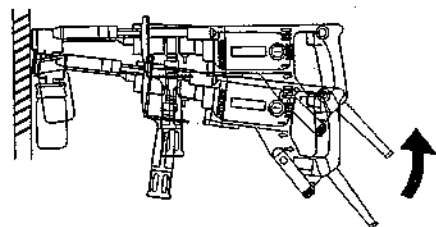
### スイッチを入れる前に

- ・ダイヤモンドビットを壁面などに押し当てて冷却剤が噴射することを確認してください。
- ・穴あけ深さに合わせて、ロッド8のネジを調節してください。
- ・ポンベホルダーが転倒しないようにしてください。
- ・高所より落下しないようにポンベホルダーの一部を固定してください。



### スイッチを入れた後に

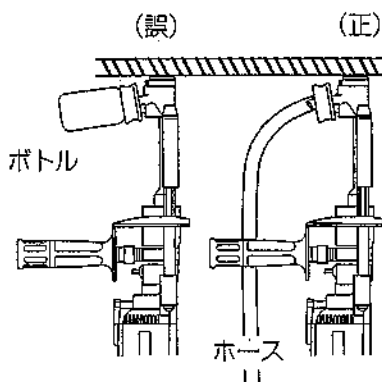
- ・ダイヤモンドビットを押し当ててください。
- ・斜めに当てますと位置決めしやすくなります。壁面が削れダイヤモンドビットが滑らないことを確認しながらドリルを垂直に当ててください。



注

- ・長時間の無負荷回転は本機が熱くなりますので十分注意してください。
- ・本機に冷却剤の廃液がかからないように十分注意してください。
- ・穴あけ直後は冷却剤が少量噴出することがありますので人に向けないでください。
- ・上向き作業時はボトルから冷却剤の廃液が流れ出る場合がありますので本機にはボトルのかわりに、付属のホースをつないで使用してください。
- ・2本組の冷却剤ポンベはまれに内圧の差により1本のみ冷却剤が極端に減る場合があります。この場合2本とも新品に交換してください。
- ・作業中ダイヤモンドビットの穴に切屑が詰まり冷却剤が出ないことがあります。このような場合にはダイヤモンドビットを取り外して切屑を取り除いてください。詰まったまま使用すると作業能率が低下するばかりでなく、ビット損傷など故障の原因になります。

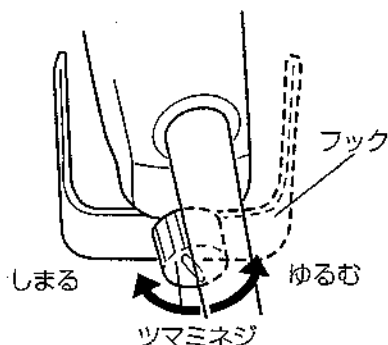
上向き作業時



フックの使い方

- ・フックの取付方向、取付位置を変えることにより、本体の左右どちら側でも使用できます。また、フックの取付位置を変えることによりフトコロ寸法を2通りに使用できます。

フックの付替えは、取付用ツマミネジを手で外すだけで行えます。



## △警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

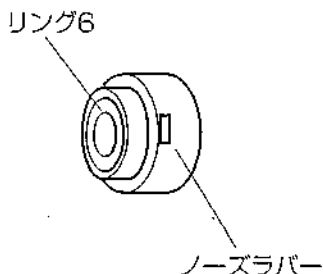
- ・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

## 日常の清掃・点検

- ・ボトル部は、作業中、常にコンクリートの切屑が付着します。この切屑をそのまま放置しますと固まってしまい、後で清掃がしにくくなります。作業後はなるべく早く水などで清掃してください。また、スプリングのスライド軸の部分は特に注意し、時々グリスや油を付け、軸がスムーズに動く様に保守をしてください。

## リング6の交換

- ・リング6の穴の部分は使用するに従って摩耗し、穴が大きくなり、この部分から切屑の漏れが多くなります。この様なときはノーズラバーからリング6を取り外し交換してください。



## ノーズラバーの交換

- ・ノーズラバーは壁面に多少凹凸があっても切屑が外へ流れ出さないようにするためのものですが常に壁面に押し付けられているため、使っているうちにその効果が低下してきますので時々交換してください。

## カーボンブラシの交換

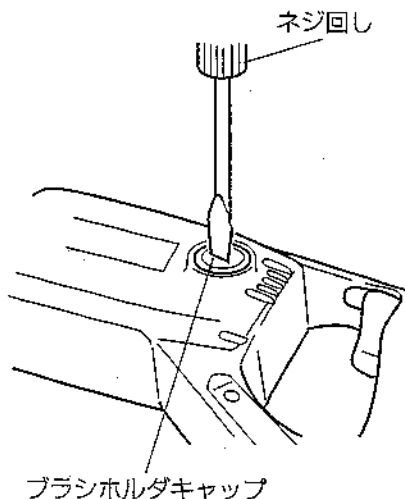
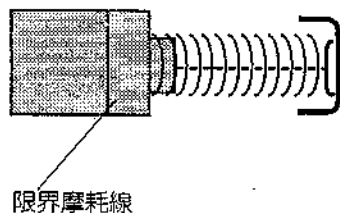
・カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。

カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

・ネジ回してブラシホルダキャップを取りはずしてください。

・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2ゴで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。



## ご修理の際は

修理は、必ずお買い求めの販売店または、弊社にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

発売元：株式会社 **オリエック**

〒341-0024 埼玉県三郷市三郷2-2-11 中村ビル2階  
TEL. 048-952-9900 FAX. 048-952-9910